学校番号	111

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	世界史Ｂ（東京書籍）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー20 訂版（帝国書院）、 総合マスター世界史Ｂ（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業で扱う歴史的事象を単に覚えるのではなく、「なぜ」と問いかけることで事象の背景やつながりを考えることができるようにする。
・各時代、各地域の出来事を理解するとともに、それぞれの関連性・連続性などを踏まえて世界の歴史の概要を把握できるようにする。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・世界の歴史への興味・関心を高め、主体的に探求していく態度を身につける。
・世界の歴史の大きな枠組みと流れを、地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解する。
・文化の多様性と現代世界の特質を多角的かつ広い視野から考察し、歴史的思考力を培う。
・世界史の資料を適切に選択し、資料に基づいて考察した結果を適切に表現する力を身につける。
・現代社会が直面する諸課題について、歴史的観点から考察し、主体的な追及を通して認識を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史への興味関心や課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	歴史的観点から現代世界の諸課題を考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を選択・収集し、それらの資料をもとに歴史的事象の考察に活用している。また、読み取った情報を図表などまとめたりしている。	世界の歴史についての出来事を時間的・空間的なつながりに注目して整理している。また、政治・経済・文化などの観点から世界史の諸事象を理解している。
評価方法	ワークシート レポート （主題学習） 振り返りシート	定期考査 ワークシート （主題学習） レポート 報告会での発表内容	定期考査 ワークシート （主題学習） 自作の歴史新聞	定期考査 ワークシート （主題学習） 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	文明以前の人類	・人類の登場と進化 ・農耕・牧畜の開始と国家の誕生 ・地域文化の形成	○ ○ ○	○	○	○ ○	a : 人類が自然環境に適応しながら農耕・牧畜を始めたことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b : 農耕・牧畜がもたらした生活の変化や社会の在り方を多面的･多角的に考察し、自分の考えをまとめを適切に表現している。 c : 資料から情報を読み取ったり、自らが必要と考えた情報を収集するために必要な資料や図表を探し出そうとしている。 d : 人類の誕生から文明や国家の成立までの流れを把握し、関係する知識を理解できている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

前期	オリエント世界と東地中海世界	●オリエント世界の成立 ・メソポタミア文明、エジプト文明の展開と文化の特徴。 ・オリエント世界での諸民族の活動（ヒッタイト・フェニキア人・アラム人・ヘブライ人など） ●オリエント世界の展開 ・オリエントの統一国家（アッシリアとアケメネス朝）の成立とその特徴。 ●ギリシア世界 ・ギリシア古代文明の成立。 ・ポリス社会 ・政治制度の変遷と古代民主政の特徴。	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：オリエント文明や諸民族の活動に興味関心を持つことに加え、学習内容をもとに比較・検討することでその特徴を把握しようとしている。 b:文明や統一国家、オリエントとギリシアなど学習内容をもとに比較・検討を行い、その特徴を把握しまとめようとしている。 c:学習内容に関する資料を収集し、資料をもとに課題を検討することができている。 d:オリエント文明の展開とペルシア人の活動を中心とした西アジア世界の特質と，その影響下に生まれた地中海周辺の都市文明について理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
前期	地中海世界と西アジア	●ローマの成立と発展 ・ローマ共和政の特徴 ・領土拡大と社会や制度の変化。 ●ローマ帝国の繁栄 ・「ローマの平和」とローマ社会の特徴。 ●古代末期の社会と地中海世界の解体 ・ローマの政治制度の変化（元首政から専制君主政）。 ・キリスト教とローマ（帝国）との関係の特徴と変化。 ●地中海世界と西アジア ・東ローマ帝国、パルティア、ササン朝の統治体制。 ・ペルシア文明の特質。	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:地中海周辺の都市文明を統合したローマ帝国、及びペルシア人の活動を中心とした西アジア世界について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:ローマの政治制度、ローマとペルシアなど、異なるものを比較しその特徴を検討し、まとめたり発表したりすることができている。また、政治制度や文化の変化の背景を検討することができる。 c:学習内容に関する資料を収集し、資料をもとに課題を検討することができている。 d:地中海世界と西アジアに関する学習内容や知識を理解できている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

前期	南アジア世界	●南アジアにおける文明の成立と国家形成 ・インダス文明の成立とその特徴。 ・古代南アジアの社会や宗教体系の成立とその特徴。 ・インド大陸に成立したマウリヤ朝やクシャーナ朝の発展。 ・インド洋交易の発展。 ●インド世界の形成 ・ヒンドゥー教の成立と発展。 ・グプタ朝以降のインド世界の形成過程。	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:南アジアで独自の宗教と社会制度を基盤とした文明が形成されたことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:資料をもとに南アジアでの交易発展の様子、交易や宗教が王朝に与えた影響を検討することができている。 c:学習内容に関する資料を収集し、資料をもとに課題を検討することができている。 d:南アジア世界やインド世界の形成に関する学習内容や知識を理解できている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
前期	東アジア世界	●東アジアにめばえた文明 ・黄河文明の成立と特徴 ・殷、周の成立と特徴 ・春秋・戦国時代の社会変動、諸思想の出現 ●中華帝国の誕生 ・秦、漢における中央集権国家の形成 ・周辺地域への拡大 ●東方の世界帝国 ・三国時代～隋の統一 ・隋唐帝国の盛衰、東アジア文明圏の成立 ・同時代の朝鮮半島と日本	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:中華文明が，中央ユーラシアに台頭した遊牧国家と関係から，東アジア世界を形成したことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:中国の統一王朝で成立した政治制度が誕生する背景を資料や学習内容をもとにして考察することができる。また、中国で誕生した制度の伝播の様子、諸制度の類似点や相違点などまとめることができる。 c:学習内容に関する資料を収集し、資料をもとに課題を検討することができている。 d:東アジア世界やユーラシア世界に関する学習内容や知識を理解している。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

前期	中央ユーラシア世界・東南アジア世界	●騎馬遊牧民国家の興亡 ・騎馬遊牧民の活動と役割 ・交易路を通じた東西世界の交流 ●草原地帯のトルコ化とイスラーム化 ・トルコ系民族の活躍とイスラームの拡大 ●海の道の形成と東南アジア ・海域世界としての東南アジア世界 ・海の道と東南アジアの国家形成 ●東南アジア諸国家の再編成 ・東南アジア諸国家と他地域との交易	 ○ ○ ○

前期	アフリカ・オセアニア・古アメリカの地域世界	●アフリカ ・15 世紀頃までのアフリカの歴史 ●オセアニア ・オセアニアの地勢と民族移動 ●古アメリカ ・メソアメリカ文明の成立と特徴 ・アンデス文明の成立と特徴	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:アフリカ、オセアニア、アメリカ大陸で独自に発達した都市文明や国家の特徴を把握し、現在の各地域との関係を把握しようとしている。また、周辺地域との交流や交流による影響を把握しようとしている。 b:各地域で成立し発展した文明や国家のあり方を、地理的・環境的な特徴を踏まえて考えることができている。また、現在の地域の様子と比較し、当時の国家や文明について考えようとしている。 c:学習内容に関する資料を収集し、資料をもとに課題を検討できている。 d:アフリカ、オセアニア、アメリカ大陸で成立した文明や国家に関する学習内容や知識を理解している。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

前期	イスラーム世界の形成	●イスラーム世界の成立 ・イスラーム成立の経緯と特徴 ・イスラーム王朝の成立と特徴 （ウマイヤ朝・アッバース朝） ●イスラーム世界の発展 ・イスラーム世界の拡大 ・地方政権の成立と発展 ●イスラーム文明 ・イスラーム文明の特質 ・イスラーム文化の発展	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:イスラーム成立の経緯や特徴を踏まえ、ムスリムが多く暮らす地域の文化を考えようとしている。また、イスラームに関するニュースや時事問題に興味を持ち、その内容を考えようとしている。 b:イスラームと諸民族・王朝の関連性について考え、「アラブ王国」と「イスラーム王国」の特徴と変遷について考えることができる。また、イスラームの拡大を地理的な面や交易などの経済的な面から考えようとしている。 c:学習内容に関する資料を収集し、資料をもとに課題を検討できている。特に、宗教の分布図や地域ごとの地図など図表などイスラームの拡大を視覚的に理解する資料を探し活用しようとしている。 d:アラブ人とイスラーム帝国の発展，トルコ系民族の活動とイスラーム世界の拡大，海陸の交易網の形成とユーラシア諸地域間の活発な交流について理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

前期	ヨーロッパ世界の形成	●東ヨーロッパ世界 ・ビザンツ帝国の動向 ・スラヴ人国家の形成 ●西ヨーロッパ中世世界の成立 ・フランク王国とローマ教会の提携 ・ノルマン人の活動とその影響 ・封建社会の成立 ●西ヨーロッパ世界の成熟 ・商業や都市の発展、中世の都市生活 ・遠隔地商業圏の成立 ・王権と教皇権 ・十字軍の背景と影響 ●中世ヨーロッパ文化 ●中世的世界の動揺 ・封建社会の動揺と支配層の変化 ・西ヨーロッパ、北欧諸国の動向 ●ルネサンス ・ルネサンスの背景 ・文芸の発展	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○

前期	東アジア世界の変容とモンゴル帝国	●唐の崩壊後の東アジア ・東アジアの変動 ・北方民族の活動 ●宋代の新展開 ・宋代の社会、都市経済の変化 ・文化の特色 ●ユーラシア大陸をおおうモンゴル帝国 ・モンゴル民族によるユーラシア大陸制覇 ・モンゴル帝国の特質 ・東西交流の進展 ●元朝の成立 ・元朝の政治、社会 ・元朝と東アジア	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:ユーラシアの諸民族が，東アジア世界をはじめとするユーラシア諸地域の交流と再編に大きな役割を果たし、モンゴル帝国が成立・再編されていった過程について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:それぞれの王朝の政治制度や経済の特徴を踏まえ、そのような特徴が成立した背景を考えることができる。また、周辺地域との交流やその歴史的意義を考えようとしている。 c:学習内容に関する資料を収集し、資料をもとに課題を検討できている。 d:ユーラシアの諸民族が，東アジア世界をはじめとするユーラシア諸地域の交流と再編に大きな役割を果たし，モンゴル帝国が成立・再編されていった過程について理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
前期	海域世界の発展と東南アジア	●三つの海域世界の成立 ・南シナ海交易の発展 ・インド洋交易とムスリム商人 ・地中海交易とイタリア商人、ムスリム商人 ●海と陸の統合 ・東南アジアにおける港市国家の発展 ・内陸国家の再編	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:海域を結ぶ交易網が整備され拡大し、そのことによって海域の結節点であった東南アジアの国家の発展・再編がおこったことに関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:三つの海域を舞台に活躍した民族の特徴や、活動がもたらした影響について資料を基に考え、まとめることができる。 c:学習内容に関連する資料を収集し、それをもとにして課題を考えることができる。また、ICT機器を活用し現在の海域の様子を調べることができる。・ d:交易網の拡大や海域の結節点であった東南アジアの国家の発展・再編がおこったことを理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

後期	大交易時代	●アジア交易世界の再編と活況 ・鄭和の南海遠征 ・マラッカ王国の繁栄 ●海洋帝国の出現 ・ヨーロッパ勢力の海外進出 ・スペインのアメリカ大陸進出と植民地経営 ●大交易時代の世界 ・海外進出によるヨーロッパ社会の変容 ・アジアでの交易の発展	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:ヨーロッパがアジア交易に参入したことで世界の諸地域を結ぶ交易活動が拡大したこと、人やモノの移動が量・範囲ともに拡大したことと世界の諸地域の社会が変化したこととの関連性に興味関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。また、同時期にアジアで行われていた交易（例. 鄭和の遠征、東南アジア諸国の繁栄など）について理解を深め、ヨーロッパ諸国の海外進出と様子を比較し、特徴を把握しようとしている。 b:アジアやヨーロッパ諸国が海外へと進出する様子、そしてそれに伴って生じた経済・社会の変化をその背景に注目して考え、まとめることができる（例. 銀の流入による税制度の変化など）。また、当時起こった様々な出来事の関連性を考えることができる。 c:学習内容に関する資料や地図を収集し、資料をもとに課題を検討できている。また、当時の航海の様子や危険性などをICT機器などを使って調べることができる。 d:大交易時代のころに展開されたアジア・ヨーロッパ・アメリカ大陸などに関する知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

後期	ユーラシア諸帝国の繁栄	●イランと中央アジアの繁栄 ・ティムール朝とサファヴィー朝 ・中央アジア諸民族の動向 ●オスマン帝国 ・オスマン帝国の拡大過程 ・オスマン帝国の統治体制、文化の特徴 ●ムガル帝国 ・ムガル帝国の発展と分裂 ・地方勢力の台頭 ●明と東アジア世界 ・明の成立と社会、経済の発展 ・明代の日本と朝鮮 ●清と東アジア世界 ・清の成立過程 ・清の版図拡大と統治体制の確立 ・清朝の社会と経済、イエズス会の活動 ・17 世紀頃の東アジア世界動向	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:14 世紀から 18 世紀までの西アジア，南アジア，東アジアの動向，及びそれぞれの地域の社会や文化の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:アジア各地に成立した統一国家の成立過程を踏まえ、領土拡大と周辺世界との関わり・周辺世界への影響を考えることができる。また、巨大な統一国家を支えた政治や社会制度、経済や宗教の特徴を資料にもとづいて考え、まとめようとしている。 c:学習内容に関する資料や地図を収集し、資料をもとに課題を検討できている。また、調べた内容を用いて統一国家の領土を示す地図を自作するなどして視覚的に理解を深めようとしている。 d:14 世紀から 18 世紀までの西アジア・南アジア・東アジアの動向、及びそれぞれの地域の社会や文化の特質を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

後期	近世のヨーロッパ	●主権国家群の形成と宗教改革 ・主権国家の形成とその特徴 ・宗教改革と対抗宗教改革 ●オランダの繁栄と英仏の追い上げ ・オランダの商業覇権の確立 ・イギリスの革命と立憲王政の確立 ・フランス絶対王政 ・三十年戦争とその影響 ●18 世紀のヨーロッパと啓蒙専制国家 ・ロシアの台頭 ・プロイセンの強国化 ●近世ヨーロッパ社会と文化 ・科学革命 ・主権国家の理論 ・思想の発展	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:16 世紀から 18 世紀までのヨーロッパ世界の動向，及びヨーロッパの社会や文化の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:当時の（そして、その後の）ヨーロッパ世界に大きな影響を与えた主権国家体制の確立・宗教改革・宗教戦争・科学革命などの出来事を、当時の国際関係を踏まえて学習し、その意義を考え、まとめようとしている。また、東西ヨーロッパの政治・社会の違いに注意しながら東ヨーロッパ諸国の動向を把握しようとしている。 c:16 世紀から 18 世紀までのヨーロッパ世界の動向，及びヨーロッパの社会や文化の特質について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d:16 世紀から 18 世紀までのヨーロッパ世界の動向，及びヨーロッパの社会や文化の特質について理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

後期	欧米における工業化と国民国家の形成	●激化する経済覇権抗争					a:18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパとアメリカで起こった諸革命や国民国家の形成が相互に関係しつつ進んだこと、そしてこのころに起こった革命によってもたらされた社会の変容（例．資本主義の成立）や諸国民の意識や行動の変化（例．自由主義・ナショナリズム）の出現やその内容について興味関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 b:アメリカ独立革命やフランス革命、産業革命などが各地域にもたらした影響や、関連性などを考え、図にまとめるなどして適切に表現しようとしている。また、それぞれの革命について、背景や時代状況、立場によって異なる意図やねらいに注目して把握しようとしている。 c:学習内容に関する資料や地図を収集し、資料をもとに課題を検討できている。また、革命の関連性や影響の理解を深めるために、収集した資料や学習内容を基に図表にまとめることができている。 d:18 世紀後半から 19 世紀頃にヨーロッパとアメリカで起こった諸革命やウィーン体制、それらがもたらした影響や社会ん変化に関する知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
		・太平洋三角貿易			○	○		
		・オランダの植民地経営				○		
		・英仏間の植民地戦争			○	○		
		●工業化による経済成長と社会問題の発生						
		・産業革命の始まりと影響	○	○		○		
		・産業革命によってもたらされた世界秩序	○	○		○		
		●合衆国とラテンアメリカ諸国の独立						
		・アメリカ合衆国の独立（アメリカ独立革命）	○	○		○		
		・アメリカ合衆国の政治制度と領土拡大過程			○	○		
		・ラテンアメリカ諸国の独立	○		○	○		
		●フランス革命とウィーン体制						
		・フランス革命前のフランス社会				○		
		・フランス革命の展開	○	○		○		
		・ナポレオンによるヨーロッパ進出	○	○	○	○		
		・ウィーン体制の成立とその特徴	○	○		○		
		●自由主義の台頭と新しい革命の波						
		・ウィーン体制への反発と民族運動の展開	○		○	○		
		・ナショナリズムの高まり		○		○		

後期	産業資本主義の発展と帝国主義	●イギリスの覇権とヨーロッパ諸国 ・東方問題の発生 ・クリミア戦争 ・ロシアの国内改革 ・イギリス、フランスの国民国家体制の発展 ・イタリア、ドイツの統一 ・オーストリア、北欧諸国の動向 ●南北アメリカの発展 ・アメリカ合衆国の発展 ・南北対立の発生と南北戦争 ・南北戦争後のアメリカ社会 ・ラテンアメリカ社会の特徴と課題 ●第2次産業革命と社会生活の変化 ・第2次産業革命 ・帝国主義と植民地獲得競争	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:ヨーロッパでは東方問題による大国同士の争い・イタリアドイツでの統一国家形成、アメリカでは南北戦争やラテンアメリカ諸国の動向などをもとに、19世紀なかばから後半にかけての諸地域の動向を理解し、複雑に入り組む国際関係を把握しようとしている。 b:クリミア戦争や南北戦争などが生じた背景や国際関係、戦争の結果もたらされた影響について資料や教科書などを基に考えようとしている。また、第２次産業革命の特徴や帝国主義とのつながりを、第１次産業革命と比較し、把握しようとしている。 c:欧米諸国の工業化の進展にともなう国家・社会の変化及び帝国主義時代の世界の動向と社会の特質について収集した資料を基に多面的・多角的に考察し、読み取った内容を図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。D:19 世紀後半から20 世紀初めまでの欧米諸国の工業化の進展にともなう国家・社会の変化や帝国主義の特質を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

後期	アジア諸地域の変革運動	●西アジアの改革運動 ・イスラーム世界の改革運動 ・西アジア諸国の動向とヨーロッパ諸国の進出 ●南アジア・東南アジアの植民地化と民族運動の黎明 ・イギリスのインド支配と民衆の抵抗 ・アジア諸地域の植民地化と民族運動 ●清の動揺と東アジアの変貌 ・諸外国の進出と清の動揺 ・東アジア世界の変容	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:ヨーロッパ諸国が積極的にアジア進出をめざす背景に産業革命の進展にともなう市場獲得・原材料供給地の確保といった目的があること、その目的を果たすために自国に有利な植民地支配をすすめたこと、そしてその動きに被支配者がどのように対応したのかをそれぞれを関連させながら理解しようとしている。 b:アジア諸国への進出をめざすヨーロッパ側の視点やねらいと、進出を受けるアジア諸国側との視点やねらいとをそれぞれを考えながら、植民地支配やアジア諸地域の変容をとらえようとしている。 c:学習内容に関する資料を収集し、そこから有用な情報を読み取り図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d:ヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の対応、及び19世紀のアジアの特質とその中での日本の位置づけについて理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

	世界戦争の時代	●第一次世界大戦 ・第一次大戦前の国際関係 ・第一次世界大戦の特徴と大戦後の社会の変化 ●ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編 ・ロシア革命 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制の成立 ・大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ ●アジア・アフリカでの国家形成の動き ・西アジア地域の国家形成 ・植民地における独立運動の展開 ・中国の統一 ●世界恐慌と国際対立の激化 ・世界恐慌の発生と各国の対応 ・ファシズムの台頭 ・日本の中国進出 ・第二次世界大戦の勃発	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

	戦後世界秩序の形成	●冷戦の形成と展開 ・大戦後の戦後処理 ・東西体制の成立と冷戦 ●植民地の独立と世界政治 ・第三勢力の成立 ●東アジアの「熱戦」 ・アジアの社会主義国誕生と分断国家 ●合衆国の覇権の動揺と再編 ・冷戦構造の変化 ・多極化する世界	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:第二次世界大戦終結後の冷戦体制の始まり、植民地の独立、平和共存の模索、世界の多極化を経て 1970 年代にいたるまでの世界の動向について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。また、現在の日本や世界の姿とのつながりを考えようとしている。 b:米ソを中心とする冷戦下で、対立が激化する一方、平和共存を模索したり、アジア・アフリカ諸国による第三勢力の結成など、多面的な動きが同時進行していたことに注意して世界の動向を把握しようとしている。また、東西両勢力の思惑や各国の反応などを踏まえて、学習内容を考えようとしている。 c:学習内容に関係する様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d:第二次世界大戦終結後の冷戦体制の始まりから，アジア・アフリカ諸国の独立，平和共存の模索，アジアやヨーロッパの経済成長による世界の多極化を経て 1970 年代にいたるまでの世界の動向について理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

	情報革命と世界経済の一体化	●情報革命とグローバル化 ・グローバル化の特徴と進展 ●冷戦終結と新たな世界秩序 ・冷戦構造の終結 ・新たな世界秩序 ●21 世紀の地球的課題と地域世界 ・私たちが直面する課題	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:「自分自身が生きる現代」という点から、グローバル化や地球的諸課題、世界と日本の動向、社会の特質などについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:現代につながる世界秩序が、形成された過程や背景を考え、理解しようとしている。また、自分自身が普段送る生活や身近な社会の中で起こる事象に注目して、現代世界について考えることができている。 c:学習内容に関する様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d:1980 年代以降の市場経済のグローバル化や地球的諸課題，及び世界と日本の動向，社会の特質について理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。